

Kozoom11月のテーマ「芸術の秋」によせて

野口幹夫

酷暑がいつの間にか遠い日となり、「芸術の秋」にふさわしい日々を迎えている。

幸い茅ヶ崎も東京ほどではないが、近くでいい音楽が楽しめる。

まずバッハの無伴奏チェロ組曲6曲の全曲演奏会が1週おいた2日間で開かれた。膝で抱え込むバロック・チェロの演奏だった。

地味な演奏会だったが60名ほどの会場が年配者を主とした聴衆で満席だったのには驚いた。チェロは自分でも楽しむ唯一の楽器だが、この音量で美しい響きは到底出せないと聞きほれた3時間であった。



来月に入るとご近所の平和学園講堂でパイプオルガンコンサートが予定されている。大好きな名曲「主よ 人の望みの喜びよ」が冒頭の曲とチラシに紹介されている、入場無料なので早めに行ってみようよもくろんでいる。

その翌日は茅ヶ崎で一番大きな文化会館大ホールで第9演奏会が開かれる。合唱は市民合唱団だ。

15年前までは毎年これに参加して歌ったのだ。合唱席から見ていると、あのチェリストはお近く



に住んでおられるチェロの先生だとか楽しい発見もあった。いまでも大きな声は出るが、耳が遠くなったので、指揮者の指示も聞こえないので参加できなくなった。

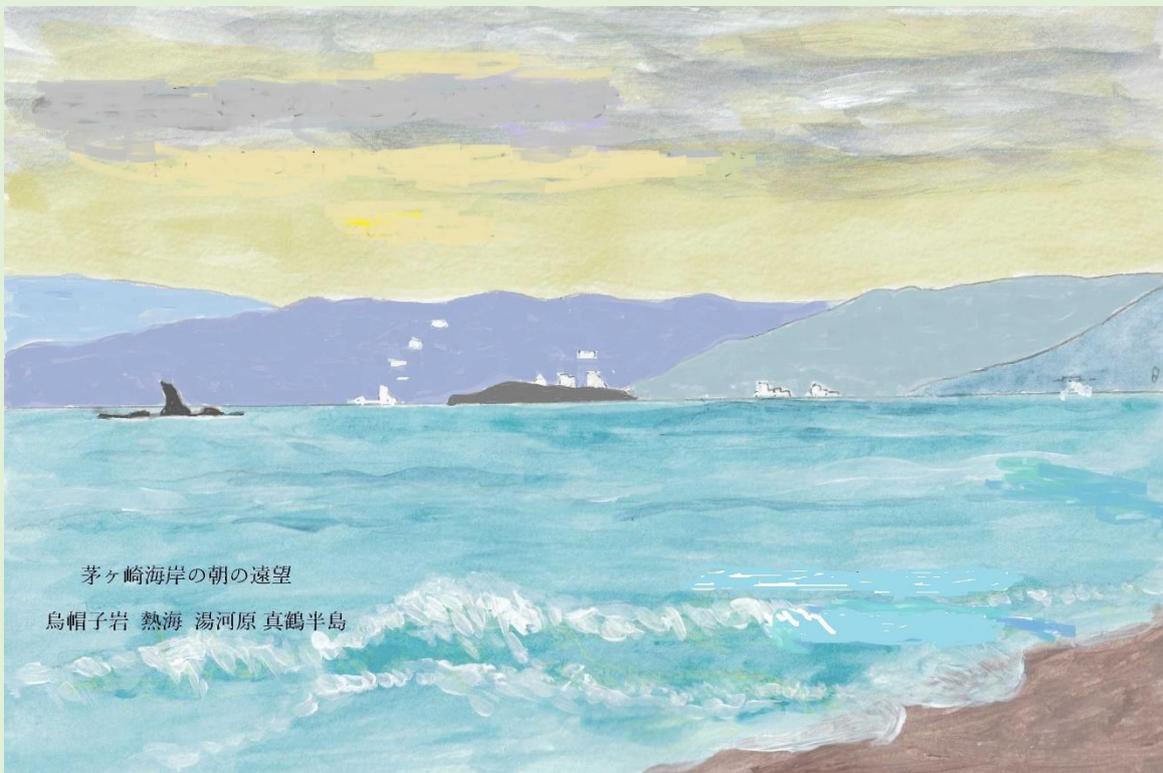
そのかわり一人で大きな声で毎朝歌っている。ラジオ体操会に出るので、6時過ぎには茅ヶ崎海岸で出て、誰もいない海に向かって歌うのだ。「浜辺の歌」を1番は原曲通り、あと5番まで作詞した歌を歌う。そのうちの3番を紹介する。

あした浜辺を もとおれば 昔のことぞ しのばるる 風の音よ、雲のさまよ。世する波も 貝の色も

赤い太陽が今昇る 銀河の中を 動きつつ 水の惑星 我が地球 いのち育み 我を生む

相模の浦の 姥が島 周りの山々 来るを待つ 富士の高嶺が火を噴くを 一人静かに見守りつ

江の島向けて歩みゆけば 昔の人ぞ しのばるる 伊能忠敬 ここを歩む 日本の島の地図を作る



茅ヶ崎海岸の朝の遠望
烏帽子岩 熱海 湯河原 真鶴半島